

めだかの学校だより

平成 13 年 8 月 1 日
 第 33 号
 学舎：いなさ自然休養村
 <つみくさ>
 事務局：引佐郡引佐町
 東久留女木 472-111
 TEL053-545-0381

校長訓話

第三十三回校長 中村 明男

ばらさんの一声で否応なく壇上へ。訓話でなく自己紹介を。

静岡県（遠州横須賀）出身。お菓子製造「吉田屋」7代目次男として生れる。

幼少の頃は、当時誰もそうであったように家に帰ると菓子作りを手伝い、隙を見て逃げ出し、野山駆け巡るスケールの大きい遊び懐かし饅頭屋の件だった。遊びには恵まれ、節分・稲荷・三社祭・葉師・天の森等、月に一、二度子供心にわくわくする行事が年中続いた。

街並み一つとっても、生鮮品・へぎ・下駄・床や・畳・大工・醤油・かや・おけ・酒・染物・茶碗・仕立て・小間物・玩具・医者・寺・神主等々生活に間に合った店が揃って、活気あふれる軒先が続いた。大人達は、その合間に遊ぶ子供たちを温かく見守っていた。

ゆっくりゆったり時は流れ、生活の潤いも貧しくとも今よりは遥かにあった。中高と一応無難に過ぎた、クラブは、テニス。華奢な体格ともかく外のスポーツをと決めた。みんな本当、こんな青なり大丈夫かと思っただらうだ。しかし私に

とってこのとき鍛えた影響はかなり大きい。土台が築かれたと思うし、精神的支えにもなっている。

高校三年頃より親父の商売は、がんこ・時代の波に乗れず激減、仕方なく、本場大阪行かなわず地元ヤマハへ。社会人スタートは、本社営業。裏腹に吉田屋廃業。その後若者は、第一線に出る、一声で浜松店へ。当時の店頭は、仕事はできる、愛嬌もいスタツフを集め、まさにヤマハの看板売り場であった。お客の顔を見ただけでお勧めレコードをさっと用意するなど粒揃え、お客であり音楽好きの若者にとって、まさに憧れの君だった。

ベンチャーズが来日し、誰もがテケテケと明け喜れた時で、ギターが次から次へとがながん売れた。イベントもお客さまと一緒に次から次と企画した。若かったし自分も大いに楽しんでた。そこから巣立った若者も多い。ポップコンの全盛期だ。

広島・東京・名古屋と転戦、当時の音楽シーンとかかわりあえたことは幸せであった。

ぼちぼち50代、その頃タイミングよくバブル崩壊で、人間回帰の方向が見え始めていた。大人の音楽教室開設。家にピアノが眠っている、憧れのピアノに触りたい。音楽の扉を開いてあげる。みんな

目が生き生きとしていた。

それから、180度異なる保険の世界へトレドされ、ライフスタイルを見直したいチャンスを与えられた。NPOで仲間と、市民のライフプランサポートもはじめた。

というふうには会社人間離脱を40代後半より心掛け、いろんな異業種サークルに時間をかけている。地元の起業主の話や聞き、夢は実現する、行動がすべてであると発奮し、世界一のギターメーカー会長にお会いし、果敢な行動に感動し、美容室の個性派集団を見事にまとめ多店舗展開した、輝いて生きるお話しに：と刺激がいっぱいである。

いろいろな人たちとの出会いを通して、積極的に生きるすべを学んでいる。もちろんこの活気あるめだかの学校においてもやである。

・感動の人生を創る 最高の喜びは自分が相手の幸せに役立つことができたい！

と全身で 受け止められたときです。今を大事に、今日精一杯生きること。



めだかの学校伝言板

——第 33 回めだかの学校を開校するので出席しなさい。
 校長／中村明男
 教頭／佐藤律子
 用務員／原邦司
 給食係／松田不秋・水野忠義・藤田潤吉
 徳増兼弘・八木正子・高森久枝
 関京子・湯浅明美・鈴木真弓
 清水瑛・渡辺三ツ子（チーフ）
 <学舎> 静岡県引佐郡引佐町奥山 1737-286
 いなさ自然休養村「つみくさ」内
 TEL 053-543-0321（開校日のみ）

開校日／平成 13 年 9 月 7 日（金）6:20PM より
 受付／佐野文子・藤野利昭・大場敬子・岩井正広
 服部守孝（後見人）
 <時間割> 去りゆく夏を惜しみながら星空のもと大いなる元気印～大いに歌おう天まで届け！！
 <第 1 部>（津軽三味線とオカリナから）
 わたしの好きな歌・あなたの好きな歌・なつかしの歌
 思い出の歌・今ある歌
 <第 2 部>（田邊チンドンと藤田チンドンの競演から）
 宴はたけなわへ——もちろんあなたの歌が主役です。
 最後は大きな輪をつくり去りゆく夏に別れを告げる…
 班長/班（8人）をまとめる班長は当日決める。

泳ぎ回るめだかたち

「地域づくりサポートネット」いよいよ始動

さる6月6日(水)NPO法人「地域づくりサポートネット」の発会式が静岡市内のアザリアでおこなわれました。県内で活躍中の地域学会のメンバーを中心に大学の先生方、その道の専門家、県庁職員から地域づくりの実践者まで多彩な顔ぶれ。めだかの関係者もたくさんいます。この「地域づくりサポートネット」は多様化する地域づくりに対応し、住民、企業や行政との橋渡し役として、また人材や情報の提供など多岐にわたる活動を目的としています。立ち上げたばかりですが、まだまだこれからというところですが、生かすも殺すも利用する人次第、皆さんが日々の地域づくりの中で疑問に思う事、どうしたらいいんだらうか?という悩み等ありましたら、ぜひお気軽にご相談下さい。きつとつよい味方になってくれますよ!

(遠州横須賀倶楽部 鈴木武史)

メダカが琵琶湖へ

関東は蕎麦、関西はうどん文化圏と言われている。そんな関西でも蕎麦に興味を持つ方もいるようで、溝口久さんのネットワークを通じて滋賀県から蕎麦打ちのお誘いがあった。蕎麦打ち体験会をしながらその方々と交流したり町並みを見学するという蕎麦打ちツアーである。こね鉢にのし板、大型のガスコンロや鍋などの道具を積んでも大丈夫な四駆を持ち、素晴らしい町並みがあるという全道どこでも出掛けし、深谷さんと仲間間に引き入れて、溝口さんと私の二人で、一路東名高速を西に向かった。

一日目は近江商人で知られた近江八幡市である。近江八幡市は、京都から電車で40分ほど東の琵琶湖畔に開かれた城下町である。豊臣秀吉の甥にあたる秀次が、湖畔の八幡山に築城するとともに湖を埋め立てて職人町と商人町を主とする先進的な城下町を作った。その町づくりの中で、もっとも重要な役割を担ったのが城下を横断している八幡堀であった。堀は、内濠と船に八幡浦への経由を義務づけ、八幡を陸上交通との連絡の場に発展させようとする商業的側面を併せもったものであった。この堀によって近江商人が隆盛を誇るようになり、大きな町屋や豪勢な屋敷が立ち並び近江八幡の町並みが形成された。そんな八幡堀も、水運から陸運への変化などの時代の流れの中で、見捨てられて下水とゴミ捨て場と化した時期があった。現在はきれいに手入れされて昔の姿を取り戻し、近江八幡ならではの素晴らしい景観が生み出され、多くの伝統的建物群が保存されている町並みとともに大切に守られている。今回の蕎麦打ち交流の相手は、そんな近江八幡の町並みを守り育てるとともにこれを生かした地域づくりを取り組んでいる「近江八幡わっしょいクラブ」と「喜兵衛塾」の方々があつた。若い方から結構年配の方に夫婦や子供連れなど、元気のある方々ばかりであった。夜遅くまで交流が続き、またしても蕎麦を打ちに行つたのか酒を呑みに行つたのかわからない状態となつてしまった。

二日目は、米原と関ヶ原の中間に位置する山東町である。二日酔いで頭が痛くても蕎麦を打てる状態ではないな。などと言いつつながら、琵琶湖畔を北上した。山東町は、大正時代からの保護活動がはじめられ、現在では国の特別天然記念物に指定されているゲンジボタルや、無数に飛来してくる鴨を宝物にしており、恵まれた自然をとて大切にしている町である。また、各種のスポーツや野外活動などが楽しめる総合公園に、福祉施設と図書館やホールなどを集めた立派な複合施設も整備されて利用している方々も大変生き生きとしていると感ぜられる町であった。蕎麦打ち体験には、聞く暇もなかったがどういふ関係のグループか、地元の方や役場の方が入れ替わりたちかわり三〇人ほど参加され

和気あいあいと蕎麦の手打ちと、打ちたての蕎麦の味を楽しんでもらった。深谷さんや溝口さんとは長い付き合いであるようだが、町長さんまで来ていただき、体験が終わった後も完成して間もない複合施設を案内してくれたのは恐縮するばかりであった。

あちらこちらに出掛けることを目的に始めた蕎麦打ちではないが、今回で3回目の県外遠征である。たかが蕎麦であるが、多くの方々と交流が生まれるのが楽しい。まったく素人の遊びの域を出ませんが、都合がつけばどこでも出掛けて行きます。皆さんも是非声をかけてください。お申込みはマネージャー役の溝口さんまで。なお「遠州横須賀・小つちやな文化展」(十月二十六日)で、今年もまた体験会を行う予定です。

(なんでもあり農園小作人の松)

「掛川哲学塾」三人委員会のこと

7月20日(土)22日(日)2001年三人委員会。掛川哲学塾「夏のセミナー」が開催された。主催は3人委員会(内山節、大熊孝、鬼頭秀一)十棹村純一十掛川哲学塾合同ネットワークの皆さんです。この中にはめだかの生徒も多数参加している。

第5回目の今年のテーマは「社会を変える教育、未来を創る教育」で、21世紀の教育のあり方を問うものでした。第1回目の特別講演は、高橋敏夫先生の「幕末期における社会変動と教育システムの対応」と題して、江戸の民衆教育を中心とし、伝統の子育ては帯祝儀礼からはじまり、出産・七五三・成人になるまでの段階に応じた「御祝事」をしながら、しつけのあつたことをあげて、非文字文化の見直しの事や、それに比べて最近の17歳問題の背景には、昔のような村の地蔵さんや神社の祭り、駄菓子屋がないような地域で育つた子に多い傾向にある、と言われたのが印象的でした。田舎に伝わる古いお祭りが、子育てに大切な役割をもっていたのだということ。考えさせられます。

その後棹村市長の「戦国・幕末・敗戦と変革における教育の変遷」。大熊先生

の「近代工学教育からみた教育の功罪」。鬼頭先生の「環境教育と地域づくり」。内山先生の「ローカルな思想としての教育、中央集権の教育」と題したセクシヨンのあと参加者交流会で一日目終了。二日目は「教育改革とローカルな思想の役割」。「教育改革と市場経済の組み替え」について討論。三日目は前4回と今回を総括しての討論で、五年間の哲学塾は終了した。参加者は青森、山形、東京、大阪、長野、福井など遠方の方も多く、3日間先生方を中心に討論された。

哲学とは、どんなに難しい事と思いましたが、身近で分かりやすく、親しみのもてる勉強会であった。

(磐田市・今村純子メダカ)

第15回地域づくり団体全国研修交流会滋賀大会

が、8月30日(木)・31日(金)の2日間にわたって大津市の天津プリンスホテルを主会場に開催される。開催テーマは「母なる琵琶湖からのメッセージ」。パートナーシップで拓く新世紀。滋賀県は琵琶湖の環境問題を通じて自然との共生を目指しているところ。また株式会社黒壁・地域通貨おうみ委員会ひとの駅プロジェクト、NPO子どもネットワークセンター天気村など、個性ある地域づくり団体が活動している。それらの団体が、住民と行政の協働を目標として共催している。

プログラムは、30日12:00受付、13:00開会式、13:30全体会(基調トーク「てい談」パートナーシップで拓く新世紀)、15:20分科会、18:00全体交流会、20:00自由交流会。31日8:00各地の分科会場へ、10:00現地分科会、12:00現地解散。全体分科会は、「歴史と風土を活かす」、「コミュニティワークにおける地域の可能性」、「街かど福祉を考える」など6つの分科会がある。31日の現地分科会は、大津市・近江八幡市・草津市・長浜市など9つの分科会がある。「コミュニティづくりのフィールドワーク」をテーマに、子どもネットワークセンター天気村、地域通貨おうみ委員会、草津コミュニティ支援センターのフイ

ルドを訪ね現地交流など楽しいプログラムが用意されている。

こうした全国研修交流会には、各地から多くの面白人も集まってくる。いろいろな人と知り合うのは、大変面白いものだ。ただ受身だと笑いは少ないかも知れない。能動的に元気づけようとする人も多くいる。7月13日なので、申し込みには間に合わないが、次回は2月群馬県を予定している。興味のある方は前もって事務局まで連絡下さい。

(榎原幸雄メダカ)

■第3回「ゆめまる」と語ろうかい」が10月に長野県南信濃村で開催の予定。

三遠南信ひとネット「ゆめまる」(会長・本島慎一郎)は、三遠南信地域の行政と住民とが協働しながら、人のネットワークづくりを目的としている。今回「第9回三遠南信行政・経済サミット」が、長野県飯田市で開催されることから、「ゆめまる」と語ろうかい」を南信濃村の役場・商工会の皆さんの協力を得ながら南信濃村で10月に行う。南信濃村では玉置洋一メダカががんばっており、松本泰榮・渡辺三ツ子メダカが菓子づくりに協力している。

「ゆめまる」には、メダカの生徒も参加している。メダカの生徒って、好奇心なのか暇なのか、いろいろな会合や催し物に顔を出している。「これこそ、めだかの精神」。共食いにならないように、独立も大切です。

■特定非常利活動法人(NPO)活動がこの頃盛んに叫ばれています。静岡県NPO推進室の話では7月23日現在131団体(認定されている)と、その中、「めだかの学校」の生徒が関わっている2つのNPO団体を紹介します。

◇徳増兼弘メダカが所属する「ねっとわあくアミダス」。3年前6名の仲間と、家事援助・送迎・買物の手伝い・介護などの「行政の介護保険の適用を受けられ

ない、そのすき間を支える福祉サービス活動をしよう」と立ち上げた。当時の仲間は3名となっていました。現在の会員は80余名。地道だが、少しでも社会のお役に立ちたい、一人のこもった活動をしている。創立者の一人で、代表の青古光子さんは元メダカ。「活動が多忙で出席できないが、いつかまた復帰したい」と言っている。

徳増兼弘(053・456・1881)

◇本多量子・高木初美・井上啓子・斎藤逸子の4メダカが所属する「ガラ紡愛好会」。6月に認定。それは14年前、佐鳴湖(浜松市)が全国汚染ワースト2位であることを知り、ショックを受け、「主婦として何かできないか」と思案している時、「石けんのいらぬいふきん」に巡りあう。その普及活動を地道に続けています。

この10年、環境問題がクローズアップされ、行政の対応や市民の反応も大きく変わってきました。私たちの活動は誰にでもできるエコ活動なので少しずつですが広まりつつあります。このふきんの素材は、60・70歳代の方なら知っているガラ紡布(綿布)で、昔から、遠州・三河地域の地場産業でした。いまは、この地域では教軒しか残っていません。さわつたらわかる。使ったらわかる。本物の良さを次の世代に引き継いでいきたいと願っています。現在会員は427名。スタツフ20名です。企画スタツフ募集中です。本田量子(053・462・5354)

◇われも繞かん!とばかりに、エヌビーネットの照井泰子メダカ。照井メダカが発行人の三遠南信情報誌「Ami」(年4回発行)三遠南信で泳ぎ回るメダカもいっぱい載ってボランティア精神でがんばっている。まさにNPO。1冊500円。問い合わせは、照井泰子メダカ053・435・3336

◇こちらはのんびりと、石野省三メダカと榎原幸雄メダカ。都田川を堰止めたダム湖「いなさ湖(引佐町)」を拠点に「環境と文化と教育(人づくり)」を基本理念

に、汚される環境をキレイにしよう!と動き出す。高齢者の雇用を兼ねた宅老や子どもたちの寺子屋などNPOも模索の範囲。とにかく楽しく「自然も人もキレイになるうや!」。10月6日(土)夜7時からうや!火のもと、油井正雪没後350年、語り津軽三味線の夕べ。演者は元メダカ白井勝文さん、静岡市在住榎原幸雄メダカ(053・545・0381)リンデンバウム

■信州のめだかからお便りします。

南信州広域連合特別養護老人ホーム遠山荘へ今年4月に異動になり、4ヶ月が経とうとしています。村役場に入ってから産業振興、地域おこし関係の仕事ばかりだったので、今回の異動には若干戸惑いしましたが、現在だいたい慣れてきました。最近、ある人曰く「もう何年も特養に

いる感じだなぁ」と言われました。うれしい事です。今、福祉の里づくりにも職員で取り組もうとしております。適切な介護を通じて、お年寄りの心に如何に接していくか、「終の棲」という現実のなかで、職員として何が出来るか。現在は施設も幾つもあります。又、厚生省は施設の個室化について事業化を推進しているようです。遠山荘も増床計画の中で考えるときですが、今、私自身、個室化が良いのか、少人数の同部屋が良いのか判りません。情報、ご意見をお寄せください。

長野県では田中知事がさまざまな情報発信をしています。南信濃村へも何回か訪れており、私達も、造林、山料理、道路状況等の課題についてアピールしています。松本めだかの手がけた「そば饅頭」はやはり好評でした。いつの日か「いまだき真つ当な料理店」で五つ星で紹介されるかもしれません。

最近では榎原さんも東京で、田中知事に直接会う機会があり、三遠南信道と交流等について、私達の想いを代弁してもらいました。三遠南信道は単なる物流の時間短縮道路にはさせたくありません。ましてや、ゼネコンのための公共事業ではあり得ません。かつての信州街道(秋葉街道)の

ような人との交流の道ができないでしょうか。南信濃村の中心地に遠山荘があります。お立ちより下さい。近くに温泉「かぐらの湯」もありますよ。(玉置洋一めだか)

■ベルギービールを 貴方と一緒に

今日は、メダカの皆さんをチヨット酔わせた白雪ブルワリーベルツ(ベルギー)ブルラスを、御紹介します。(ベルギー)ブルラスは種類が豊富で800銘柄あると言われ、このブルワリーには約40種類程保管されています。また室内は特徴的に作られ一見の価値があると思います。奥様、恋人、ご主人、男女、問わず誘い併せてお出掛け下さい。ワイワイ、ガヤガヤ、やりましょう。日時 平成13年9月22日(土曜日)午後3時30分、場所 名古屋市中東区、白雪ブルワリーベルツ、グランブル(地下鉄 東山線 終点 藤が丘 下車 徒歩5分)尚 当日は、現地集合・解散とします。参加される方は連絡下さい。斉藤まで連絡先 0538・32・8374

■手づくりの工芸品展 天水庵

2001年7月28日(土)〜8月30日(木) 11:00AM〜7:00PM(月曜定休) 天竜市神沢55番地 TEL:0539・29・0720 「出版作家」石原淳宏(言)鈴木真弓(マクラメ)なわりのこ(パステル画)耳塚信博(石&絵)紅磨呂(陶器)友情参加 野村徳子(人形) 中野隆之(染色)★今回は、「めだか春秋」は、お休みとさせていただきます。次回をお楽しみに。【訂正とお詫び】第32号メダカ春秋の中で「町会議員の報酬が517000円が振りこまれ」となっておりますが157000円の誤りです。訂正し、お詫び申し上げます。

☆田中秀子メダカ。パキスタンで志半ばに事故死した浜松市の女性教師の遺稿集「きむちやんのたび日記」を11人の有志らと発行。きむちやんとは、1999年8月、NGO活動中、パキスタンの地で亡くなった元浜松市立和地山小教諭木村恭子さん享年32歳のこと。木村さんは「ヒマラヤの緑を取り戻す」活動をしているボランティア団体「ヒマラヤ・グリーン・クラブ」の一員として夏休みを利用してパキスタン北部のスカルドウを訪れた際、交通事故に遭い、帰らぬ人となった。木村さんの渡航先は発展途上国を中心に27カ国に及び、自分の体験を通して「子どもたちに国際感覚を！」と、教師の夢を10年間非常勤講師をつづけながら挑戦、念願の教師になった矢先の出来事。遺稿集は、約百枚の写真と日記でつづった。短くも自分の道を前向きに生き抜いた木村さんのメッセージがぎゅぎゅ詰まった感動の一冊です。

田中メダカは出席できないけど、「めだかの学校だより」を読むことでもいつも『メダカ生』と言っている一人です。問い合わせは053・436・6848まで。

☆31回のトピックスで紹介した「認定書付き宇宙メダカが、事務局のリンデンパウムで誕生しました。昨年の12月26日、伊豆・河津町の旅館運龍さんから4匹もらい受け、2匹が凍死。マイッタ!!（オス同士・メス同士だったらどうしよう）と思っていたら、残った2匹はオスとメス。よく見ないと分からないが、20匹ほどが孵化して別の水鉢でスイスイと泳いでいる。養子縁組を!と思っていたら、清水市の高部小学校から早々の申し入れ。うれしいやら淋しいやら、なんだか娘を嫁に出す親の気持。実の娘には「早く出て行け!!」なんて言ってるけど、マイッタね。それにしても8年目・何世代代目でしょうね?。【追伸】宇宙めだかの子孫を再度宇宙へ飛ば

び出させるとのこと。北海道の高校生が大事に育てた20匹が手渡される映像がテレビで流されていました。

☆榊原幸雄メダカ。6月19日東京で開催された「三遠南信道路建設促進期成同盟会総会」(会長・田中康夫長野県知事)に意見発表を求められて、三遠南信ひとネットワーク「ゆめまる」事務局長の肩書きで出席。

田中会長「国道と言いつつ車道と違ってもできない道路(152号線)がなぜいまだに放置されてきたのか。素通りされるような4車線の高速度道路ではなく生活道路として早急にすすめるべきだ」と。私と云えば、3県の国会議員、三遠南信地域の首長らを前に10分間の意見発表大緊張。ノートをもつて壇上へ。ナント、またまたバラ節。松本泰榮メダカの饅頭指導から照井泰子メダカが企画編集する三遠南信情報誌A米の宣伝まで田中知事にA米と胸につけたコサージュをプレゼントする始末。一週間後には、事務局の長野県土木部へお礼と、胸につけていたコサージュでは失礼だと改めてメッセージをつけて田中知事へ送る。数日後、家に電話。「もしもし田中康夫です」「エツ、どちらの田中康夫さんですか」「長野県知事の、先日はありがとうございます。今度静岡岡原へ行くのですが私の携帯番号は090△△。もうびつくり。私も「三遠南信道路は2車線対面道路の少なくとも住民の使いやすい道路にすべきだ」と意見発表した。田中知事も浜松から阿智町まで152号線を車走ったこと。住民の視点で行政を進めようとする田中知事の面目躍如とするところ。メディアは、脱ダム宣言と同じように反対すると思つたら、高速度道路の概念とは違つたが、賛成だったので「なんだ詰まらん。現状を知らないメディアにとつては拍子抜けだったことでした。

◆事務局より

暑中お見舞い申し上げます。

毎日暑い日が続きます。このところ雨も降らず、生活水は川取りの私のところでは毎日雨が雨。いやはや今年の空梅雨との暑さにはマイッタ。畑を借りての家庭菜園は、土はカラカラ、野菜ものはグター、私はポワァ。

「こんな暑さ 吹っ飛ばせー!!」と気合を入れるのは7月18日に開かれた職員会議。中村明男以下13人が集まって熱気ムンムン。「プワァ」と行こう!と、去りゆく夏を惜しみながら、星空のもと、大いに歌(叫)おう!。前半は上品に、後半はテンチンドンテンチンドンと田邊・藤田の両チンドン屋さんと一緒に歌って踊って「元気O印」ここで終わりにならないところが「めだかの学校」のイイトコロ。

「全員「好きな歌」心に刻まれた歌」今風の歌」など、一人一曲。それに30字以内のコメントをつけて提出することにしよう。出席者は全員楽器を持参。どんな楽器でもいい、音が出るものなら。口三味線が得意な人はそれでもいい。ギター、ハーモニカ、オカリナ、笛、鍵盤など伴奏ができる生徒は事務局(053・545・0381)までご連絡ください。8月20日までに送られた生徒の歌を、選曲・伴奏検討会(座長・中村明男校長)を聞いて決めますが、その委員になつてください。伴奏できない曲は、ゴメンナサイになるかも知れませんが、これもまた大らかに決めます。とにかく8月20日までに提出してください。忘れずに。

公開IIをやる。仙台を拠点に関東地方で活躍している民族歌舞団「ほうねん座」の公演企画。「会場の交渉はオレにまかせて!」とばかりに石野省三メダカ。いい会場と言われるところ、電話をかけたが「何をいまごろ」と、ほとんどがダメ!。「もう西部地域だったらどこでもいいから見つけて!」やっと浜松市教育文化会館がとれた。特別教室の日程は、12月9日(日)夜6時半開場で7時から公演。会費は2500円。舞台と会場が一体となつて大いに盛り上がりましょう。特別教室のスタッフ希望者は9月7日の開講日に連絡下さい。12月7日(金)の、第34回「めだかの学校」は、しっかりと授業をやらせて頂きます。もしかしてあなたが校長かも。授業は?楽しみにしておきましょう。

■9期の入校手続きを!!

9期(13年9月1日、14年8月31日)の継続および入学手続きを行っています。7月20日現在82名の生徒が手続きを済ませています。継続生でまだ手続きを済ませていない生徒には再度申込書を同封します。早急に済ませて下さい。未手続きの生徒は、名簿からはずれ自動退学となります。注意下さい。

■各地のたよりの掲載について

各地域でいろいろの催事があると思います。次回発行日は、11月1日です。10月20日までに事務局、又はエヌビーネット照井まで。FAX 053・431・0470 Eメール teru@nbn.net.co.jp

私が21世紀に残したい歌 題名と氏名

(心に残ったうた～一人一曲=×は-は除)

	曲名	氏名		曲名	氏名
1	夏の思い出	鈴木 旭	33	家路	鈴木 武男
2	のちの野原のわ	高橋 俊光	34	歌をよびたに	柴崎 達彦
3	赤とんぼ	山形 尚	35	明日に架け子橋	松本 孝彦
4	荒城の月	杉山 淳一	36	リンゴの唄	鈴木 計子
5	"	尾上 美智子	37	時代おしめ	スズキ スズキ
6	上を向いて歩こう	幾合 啓二	38	マイ、ウェイ	佐野 文子
7	月の砂漠	石川 美知子	39	海ゆかば	田邊 祐
8	海は広いほどいい	芝 晴美	40	小山あひ (中村和俊)	鈴木 正昭
9	森の火車	古橋 和雄	41	お嫁にあいこ	藤森 照
10	志の高原をよびたに	加茂 光廣	42	ゴンドラの唄	伊藤 英人
11	青い山脈	本島 慎一郎	43	70カ70カ (西田恭哉)	西原 弘
12	川の流るるよに	湯浅 剛美	44	花の街	池谷 豊
13	"	藤田 秀子	45	女ひこり (佐々木)	斎藤 昭
14	落陽 (吉田拓郎)	中嶋 豊	46	L.A.L.A.	溝口 久
15	琵琶湖周航の歌	加藤 修一	47	スタンプバイミー	山崎 敏
16	花	横山 浩史	48	友よ	中村 明
17	君といつまでも	朝比奈 國雄	49	白い花の咲く頃	服部 守
18	水戸黄門の遊歌	奈良 芳子	50	夢をよびたのよに	夏目 美
19	薔薇が咲いた	白坂 玲子	51	花とほの唄	永野 忠
20	戦争を知らぬ子供たち	松本 浩	52	しゃぼん玉	名和 純
21	小ぶら	柳原 友友	53	誰かが星をみつけた	名和 理代
22	"	村松 繁	54	アイズニの歌	佐原 剛
23	"	牧野 久子	55	たしと三兄弟	近藤 志司
24	"	金原 恵子	56	君が代	須増 兼
25	"	耳塚 信博	57	龍月夜	天野 智加
26	"	長島 享	58	夏は来ぬ	市川 彰
27	上を向いて歩こう	片岡 繁輝	59	あめ上野駅	早澤 貞
28	青い山脈	花井 孝一	60	野に咲く(花のよに)	平本 尚
29	北上夜曲	玉置 洋一	61	瀬戸の花嫁	寺田 順
30	見上げてごらん夜の星を	大谷 香代子	62	恋の世帯に	田中 秀子
31	虹が富士山を登る	柳原 幸雄	63	上を向いて歩こう	大谷 洋
32	七つの子	伊藤 英男	64	黒の舟歌	永田 茂

〔期日外提出〕

史
矢
廣
芳
利
子
子
明
雄
松
松
及
又
明
男
孝
之
義
江
心
子
司(中川)
子
加
志
次
久
子
子
外
友

曲名	名前	名前
65 夢をいま(お)	天野 貞美子	
66 大の国から	横田 浩臣	
67 時代	高森 久子	
68 戦友	前島 克己	
69 舟唄	伊藤 友恭	
70 花をいこう	山名 小い子	
71 冬景色	木村 智子	
72 花エカー(歌芝居)	山根 圭二	
73 石といつまでも	吉田 俊夫	
74 ニ輪草	深澤 明男	
75 あがみの歌	堀田 望正子	
76 "		
〔錯誤〕		
① 良き友 良き仲間	鈴木 芽雄	
② 夢をいこう 理想をいこう	井上 亮子	
③ 笑顔と涙のあはれ	山下 正	
④ 美しい山と海名湖月	階堂 隆夫	
⑤ 自然と共生していることを 忘れない	今村 純子	
⑥ 何をいひと決めるのは 難しい事だ――	鈴木 真子	
〔出席で無記入〕		
①	山下 俊子	
②	伊達 公一	
③	伊藤 八右	
〔欠席で無記入〕		
①	松下 佳梨世	
②	吉村 亮	
〔欠席で退学希望〕		
①	鳥山 剛	

曲名	名前
77 はじり雪	杉本 幸雄
78 大の国の学校	杉村 頼祐
79 小の国	岡 京子
80 上を向いて歩こう	小野 泰弘
81 のぶうき	鈴木 正士
82 いい日旅立ち	石野 春三

* 以上...の曲名と氏名が提出した生徒です。錯誤に自分の思いを50文字のメッセージとして提出した生徒もいます。全て提出されたものと記入します。

あとの残りの生徒は未提出です。

〔注〕 出席席や課題を送付したものにのみです。必ず提出する義務がなければいけません。又、生徒は「おろしたためは、同封された申込書に記入し、1000円を添えて提出することになっている。6月号と9月号(5月と8月)で、2度にわたって送付した方が未提出の生徒がいるのはつじつら9月3日の登校日に付属とされたい。生徒は自願退学としたい。新しくつくろ名簿には登録されたい。為回の連絡が届かないことについてご了承ください。